



清水裕友  
今年、SS班に返り咲いた清水裕友も有力な優勝候補。1月大宮記念でVスタートを決めると、その後も豊かなスピードと俊敏な立ち回りを武器に、安定感抜群の成績を残している。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。対照的に昨年のグランプリチャンプ・松浦悠士は、ウィナーズカップでの落車の怪我が完治してない状態でダービー、全プロ記念は伸びが物足りなかった。調子の上積みが見えない。



古性優作

古性優作  
古性の2人しかいない。昨年、昨年と連覇している古性優作がこれに続くか注目される。輪界トップのオールラウンダーである古性は、今年も躍動感にあふれる競走を披露している。ビッグレースでの優勝こそないものの、オール優等生として全日本選抜4着、ウィナーズカップ準V、ダービーは3着。常に優勝争いに加わっているし、G3は5月函館記念で3V目をものにしている。脇本雄太、寺崎浩平の福井コンビに、三谷竜生、南修二、東口善朋と近畿勢はラインの総合

力でも上位。地元ファンの声援にも後押しされて、偉業を達成とみて中心視した。持病の腰痛のため、4月西武園記念の2日目から欠場していた脇本雄太は、高知全プロ記念から実戦に復帰。結果は29着。初日優秀は7番手からのまくり、スパープロピストレーサー賞は、寺崎に前を任せただの参考外も、まだ本調子と言えない状態ではなかった。どの程度の体調で参戦できるかが浮沈の鍵となりそう。

今年、SS班に返り咲いた清水裕友も有力な優勝候補。1月大宮記念でVスタートを決めると、その後も豊かなスピードと俊敏な立ち回りを武器に、安定感抜群の成績を残している。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。対照的に昨年のグランプリチャンプ・松浦悠士は、ウィナーズカップでの落車の怪我が完治してない状態でダービー、全プロ記念は伸びが物足りなかった。調子の上積みが見えない。

# 大会3連覇を睨む古性優作

過去にこの大会で3連覇を達成したのは、54歳、56年の中井光雄氏（故人）、85、87年に日本競輪選手養成所の滝澤正光所

今年、SS班に返り咲いた清水裕友も有力な優勝候補。1月大宮記念でVスタートを決めると、その後も豊かなスピードと俊敏な立ち回りを武器に、安定感抜群の成績を残している。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。対照的に昨年のグランプリチャンプ・松浦悠士は、ウィナーズカップでの落車の怪我が完治してない状態でダービー、全プロ記念は伸びが物足りなかった。調子の上積みが見えない。



脇本雄太

脇本雄太  
脇本の2人しかいない。昨年、昨年と連覇している脇本雄太がこれに続くか注目される。輪界トップのオールラウンダーである脇本は、今年も躍動感にあふれる競走を披露している。ビッグレースでの優勝こそないものの、オール優等生として全日本選抜4着、ウィナーズカップ準V、ダービーは3着。常に優勝争いに加わっているし、G3は5月函館記念で3V目をものにしている。脇本雄太、寺崎浩平の福井コンビに、三谷竜生、南修二、東口善朋と近畿勢はラインの総合

今年、SS班に返り咲いた清水裕友も有力な優勝候補。1月大宮記念でVスタートを決めると、その後も豊かなスピードと俊敏な立ち回りを武器に、安定感抜群の成績を残している。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。対照的に昨年のグランプリチャンプ・松浦悠士は、ウィナーズカップでの落車の怪我が完治してない状態でダービー、全プロ記念は伸びが物足りなかった。調子の上積みが見えない。

今年、SS班に返り咲いた清水裕友も有力な優勝候補。1月大宮記念でVスタートを決めると、その後も豊かなスピードと俊敏な立ち回りを武器に、安定感抜群の成績を残している。獲得賞金ランキングは第3位に付けている。対照的に昨年のグランプリチャンプ・松浦悠士は、ウィナーズカップでの落車の怪我が完治してない状態でダービー、全プロ記念は伸びが物足りなかった。調子の上積みが見えない。

高松宮記念杯競輪 出場予定選手									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	114.54	S1	吉田拓矢	茨城	107期	113.88
SS	深谷知広	静岡	96期	117.52	S1	佐々木龍	神奈川	109期	109.22
SS	新山響平	青森	107期	112.97	S1	小林泰正	群馬	113期	112.24
SS	真杉匠	栃木	113期	114.32	S1	松井宏佑	神奈川	113期	113.96
SS	脇本雄太	福井	94期	115.89	S1	高橋晋也	福島	115期	108.48
SS	松浦悠士	広島	98期	118.33	S1	坂井洋	栃木	115期	113.77
SS	古性優作	大阪	100期	119.17	S1	佐々木悠葵	群馬	115期	111.81
SS	清水裕友	山口	105期	119.06	S1	青野将大	神奈川	117期	108.00
SS	山口拳矢	岐阜	117期	112.61	S1	北井佑季	神奈川	119期	116.18
S1	諸橋愛	新潟	79期	111.65	S1	山口富生	岐阜	68期	108.65
S1	佐々木雄一	福島	83期	105.12	S1	志智俊夫	岐阜	70期	107.68
S1	竹内智彦	宮城	84期	109.84	S1	香川龍介	香川	76期	109.70
S1	岡村潤	静岡	86期	107.94	S1	小倉竜二	徳島	77期	111.86
S1	平原康多	埼玉	87期	115.44	S1	桑原大志	山口	80期	109.66
S1	中田健太郎	千葉	87期	111.93	S1	野田源一	福岡	81期	104.95
S1	佐藤友和	岩手	88期	109.84	S1	荒井崇博	長崎	82期	111.10
S1	成田和也	福島	88期	110.54	S1	渡部哲男	愛媛	84期	106.54
S1	山崎芳仁	福島	88期	110.69	S1	東口善朋	和歌山	85期	113.06
S1	河野通孝	茨城	88期	107.73	S1	村上博幸	京都	86期	110.71
S1	武田豊樹	茨城	88期	104.88	S1	井上昌己	長崎	86期	112.20
S1	渡部幸訓	福島	89期	111.38	S1	若津裕介	岡山	87期	110.30
S1	内藤秀久	神奈川	89期	107.62	S1	園田匠	福岡	87期	110.57
S1	新田祐大	福島	90期	117.33	S1	南修二	大阪	88期	114.58
S1	菅田吉道	宮城	91期	111.50	S1	橋本強	愛媛	89期	111.04
S1	神山拓弥	栃木	91期	109.57	S1	山田英明	佐賀	89期	113.96
S1	宿口隼一	埼玉	91期	110.96	S1	浅井康太	三重	90期	113.72
S1	和田圭	宮城	92期	111.23	S1	阿竹智史	徳島	90期	108.93
S1	鈴木裕	千葉	92期	108.21	S1	小川勇介	福岡	90期	108.48
S1	若本俊介	千葉	94期	114.09	S1	北津留賢	福岡	90期	111.06
S1	根田空史	千葉	94期	109.48	S1	小岩大介	大分	90期	111.47
S1	小原太樹	神奈川	95期	109.54	S1	松岡貴久	熊本	90期	110.26
S1	守澤太志	秋田	96期	113.94	S1	三谷将太	奈良	92期	112.08
S1	長島大介	栃木	96期	107.90	S1	山田久徳	京都	93期	111.18
S1	松谷秀幸	神奈川	96期	112.11	S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	108.94
S1	武藤龍生	埼玉	98期	113.00	S1	山田庸平	佐賀	94期	112.68
S1	小松崎大地	福島	99期	107.96	S1	河端朋之	岡山	95期	109.47
S1	中田健太	埼玉	99期	109.15	S1	中本匠栄	熊本	97期	108.68
S1	都司浩平	神奈川	99期	116.13	S1	窓場千加頼	京都	100期	112.95
S1	和田真久留	神奈川	99期	111.87	S1	神田紘輔	大阪	100期	108.86
S1	阿部力也	宮城	100期	109.85	S1	三谷竜生	奈良	101期	111.64
S1	横山尚則	茨城	100期	108.78	S1	山本伸一	奈良	101期	110.29
S1	恩田淳平	群馬	100期	107.04	S1	谷口遼平	三重	103期	110.18
S1	吉澤純平	茨城	101期	107.69	S1	隈田洋介	岡山	107期	108.10
S1	杉森輝大	茨城	103期	108.48	S1	取島雄吾	岡山	107期	110.20
S1	嶋津拓弥	神奈川	103期	107.10	S1	小川真太郎	徳島	107期	106.44
S1	渡邊雄太	静岡	105期	106.15	S1	島川将貴	徳島	109期	109.45



### 窓場 千加頼 (京都/100期)

ウィナーズカップは3連勝で決勝に乗ると、ダービーでは①⑥①⑨着と2勝をあげた。スピードに磨きがかかり、最近は大レースで存在感を猛アピールしているので、上位進出が期待される。



# PICK UP RACER



### 取鳥 雄吾 (岡山/107期)

このところ動きがいい。5月和歌山で今年初Vをゲットすると、高知全プロ記念では先行とまくりを使い分けて連勝を決めた。自力攻撃が冴えているので、緩んだタイミングを逃さず仕掛けて出たの一発には注意したい。



### 武藤 龍生 (埼玉/98期)

ダービーでは、ゴールデンレーサー賞にコマを進めて決勝に進出。昨年のオールスター以来となるG1優参を果たした。差し脚の切れを増した上に、関東は上昇ムードの自力型がそろっているので目が離せない。



## GIRLS KEIRIN

### 第2回パールカップ



坂口 楓華



児玉 碧衣

## 児玉碧衣がG1連覇だ

24年のG1第二弾。高松宮記念杯と同様に、東西14名ずつを選考期間における平均競走得点順に選抜し、それぞれの予選、準決を勝ち上がった7名が決勝を争う。他のレースではない概定だが、G1連覇を狙う児玉碧衣に注目は集まる。昨年も新設G1第1弾だったこのパールカップを制してグラブプリ出場権を真っ先に得た児玉。ただ、その後は年末まで勢いを維持できなかったという反省がある。今年もオールガールズを制した後も普通開催を連続優勝し、連勝を15まで伸ばして順風満帆な中、練習にメリハリを付けたり考えて過ごして、この大一番に心身ともにベストの状態に臨めるように工夫している。仕上がってれば持っているスピードが違う。先行も視野に積極的に仕掛けて賞金を示そう。オールガールズでは優参を逃す屈辱を味わった坂口楓華、優参するも直前の落車で苦戦した久米詩が巻き返しを誓う。復活の尾崎睦、大一番に強い吉川美穂もオールガールズ以上の成績を目指そう。石井寛子、小林莉子、尾方真生、柳原真緒、山原さくら、伸び盛りの飯田風音らにも注意。



There is a dignity in the delight.

歓喜の渦に凛々しさがある。

令和6年能登半島地震復興支援競輪 / 大阪・関西万博協賛

### 第2回パールカップG1

6/11日 12日 13日

岸和田けいりん 56# Dokanto KEIRIN JP GIRLS KEIRIN

※車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。



車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。